



令和3年度 当初予算
令和2年度 2月専決・3月補正予算
(国の第3次補正予算分)

14か月予算のポイント

令和3年2月 八代市 財務部 財政課

予算編成にあたって

八代市長 中村 博生



昨年から新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、市民の皆様におかれましては、大変な思いをされながらも、日頃より感染予防に対しまして、ご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

令和3年度は、コロナ禍の中で、思いやりと感謝の気持ちを大切にしながら、八代の発展に向けて取り組んでいくことと併せまして、坂本町における豪雨災害からの復旧・復興を着実に進めていく重要な年となります。

昨年10月に新年度予算の編成方針を掲げた後、税収の減少傾向や経済の停滞もある現実にはしっかりと目を向け、このような時だからこそ、市民の皆様の命と健康を守る感染症対策や、復旧・復興に必要な内容を盛り込みました。併せて、時代の変化に適応した施策を展開し、ポストコロナの夢や希望が持てる、新しい八代市の実現につなげることができるよう、国や県と連携し、切れ目のない14か月予算として編成しております。

以降、その内容についてポイントを紹介いたしますが、八代市の知恵と経験を結集して、市民・事業者の皆様が抱える喫緊の課題にしっかりと対応した、新たな一歩を踏み出すための予算案です。

これからも、皆様の日々の生活をお守りし、将来にわたり魅力と活力あふれる八代市を築くために必要な施策については、心をつちにして、「オールやつしろ」で進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

一般会計予算の規模

※以降の頁において、金額は百万円単位の表記としています。

令和2年度2月専決<2/5>補正予算【国の補正分は、新型コロナウイルスワクチン接種経費】
6億7,100万円（うち国の3次補正分 6億7,000万円）

+

令和2年度3月補正予算【国の補正分の詳細は、次頁に記載】
17億2,500万円（うち国の3次補正分 8億4,300万円）

+

令和3年度当初予算
671億 600万円

当初予算としては、合併後 最大規模

（前年度当初予算比 11.5%の増）

||

<3次補正分を含む14か月予算ベースの合計>

686億1,900万円（前年度比 13.0%の増）

※上記以外に、7月豪雨の災害復旧経費（79億8,000万円）を、令和3年度へ繰越予定。

令和2年度 3月補正予算のポイント

一般会計の補正規模は、17億2,500万円（一般財源：△7億1,900万円）

「国の3次補正予算」関連事業	8億4,300万円
市内道路整備関係事業	2億7,200万円
(8頁) 市内一円道路改良事業：1億8,500万円、道路維持事業：8,100万円、 (9頁) 交通安全施設整備事業：600万円	
八代港県営事業負担金	1億9,100万円
(9頁) 国直轄事業、海岸整備事業	
県営土地改良事業負担金	1億2,000万円
(6頁) 経営体育成基盤整備（昭和地区）、湛水防除事業（金剛地区）、 排水対策特別事業（古閑浜地区）	
西片西宮線道路整備事業	9,500万円
(9頁) 道路改築工事、埋蔵文化財調査業務委託	
	等
国の「地方創生臨時交付金」活用事業	1,700万円
新型コロナ対策事業（生活交通確保維持）	1,700万円
(3頁) タクシー利用補助：1,200万円、 すーぱーばんべいゆ利用補助：500万円	

通常補正対応分	8億6,500万円
●国・県補助活用分	2億9,400万円
生活交通確保維持事業	2億700万円
(3頁) 地方バス路線維持費の補助	
障害福祉サービス給付事業	6,000万円
(4頁) 給付費の不足分を補てん	
	等
●市単独分	5億7,100万円
ふるさと納税関係経費	1億5,000万円
(3頁) ふるさと納税事業（特産品代など）：1億3,600万円、 (12頁) ふるさと八代元気づくり応援基金事業（基金への積立）：1,400万円	
職員給与経費	1億4,200万円
(3頁) 退職手当の不足分を補てん	
	等
★繰越明許費の設定	
災害廃棄物処理事業（豪雨災害）など（33事業）【総額】37億100万円	

特別会計の補正規模 700万円 ・ 企業会計の補正規模 6億5,300万円

国民健康保険特別会計	
償還金事業	700万円
(13頁) 超過交付となった負担金の返還	

簡易水道事業	
歳入の組み換え	—
(13頁) 給水使用料等の減額、 他会計補助金の増額	

下水道事業	
「国の3次補正予算」関連事業	6億5,300万円
(13頁) 管渠施設整備費、ポンプ場施設整備費、 水処理センター施設整備費	

令和3年度 八代市 当初予算

※一般会計は、671億600万円です。
(対前年度 69億700万円の増)

会計名称	令和3年度		令和2年度		対前年度増減	対前年度比
		割合		割合		
一般会計	671億 600万円	62.1%	601億9,900万円	58.6%	+69億 700万円	+ 11.5%
特別会計	338億3,700万円	31.3%	341億7,500万円	33.2%	△3億3,800万円	△ 1.0%
国民健康保険	169億2,800万円	15.7%	174億6,300万円	17.0%	△5億3,500万円	△ 3.1%
後期高齢者医療	19億7,900万円	1.8%	19億9,600万円	1.9%	△1,700万円	△ 0.8%
介護保険	146億8,100万円	13.6%	144億7,200万円	14.1%	+2億 900万円	+ 1.4%
農業集落排水処理施設	9,400万円	0.1%	9,500万円	0.1%	△ 100万円	△ 1.8%
公共浄化槽等整備推進事業	5,100万円	0.0%	5,100万円	0.0%	—	+ 0.0%
ケーブルテレビ事業	2,500万円	0.0%	2,300万円	0.0%	+ 200万円	+ 9.4%
診療所	7,800万円	0.1%	7,500万円	0.1%	+ 300万円	+ 3.9%
久連子財産区	28万円	0.0%	28万円	0.0%	—	△ 0.7%
椎原財産区	23万円	0.0%	23万円	0.0%	—	+ 0.0%
企業会計	71億7,500万円	6.6%	84億1,400万円	8.2%	△12億3,900万円	△ 14.7%
水道事業	8億4,700万円	0.8%	9億6,400万円	0.9%	△1億1,700万円	△ 12.1%
簡易水道事業	4億 400万円	0.4%	3億9,200万円	0.4%	+1,200万円	+ 3.1%
下水道事業	59億2,400万円	5.5%	70億5,800万円	6.9%	△11億3,400万円	△ 16.1%
合 計	1,081億1,800万円	100.0%	1,027億8,800万円	100.0%	+53億3,000万円	+ 5.2%

※ 各区分の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

※この表は「当初予算」を比較したものであり、補正予算を加えた決算時の予算額とは異なります。

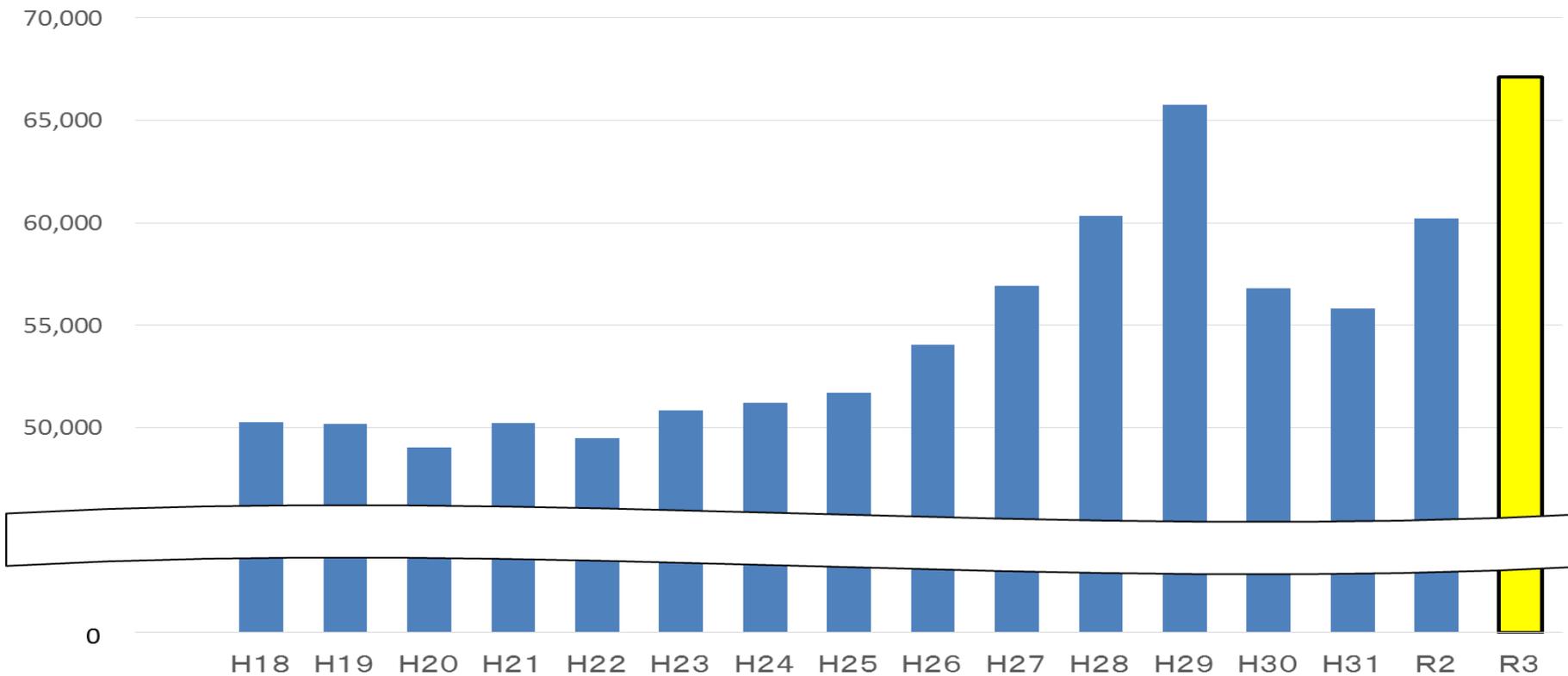
- ① 一般会計は、福祉・教育・道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。
- ② 特別会計は、特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険など、9つの特別会計があります。
- ③ 企業会計は、自治体が運営する企業の会計です。

令和3年度 八代市 当初予算

一般会計の当初予算規模は、
合併後、過去最大規模となります。

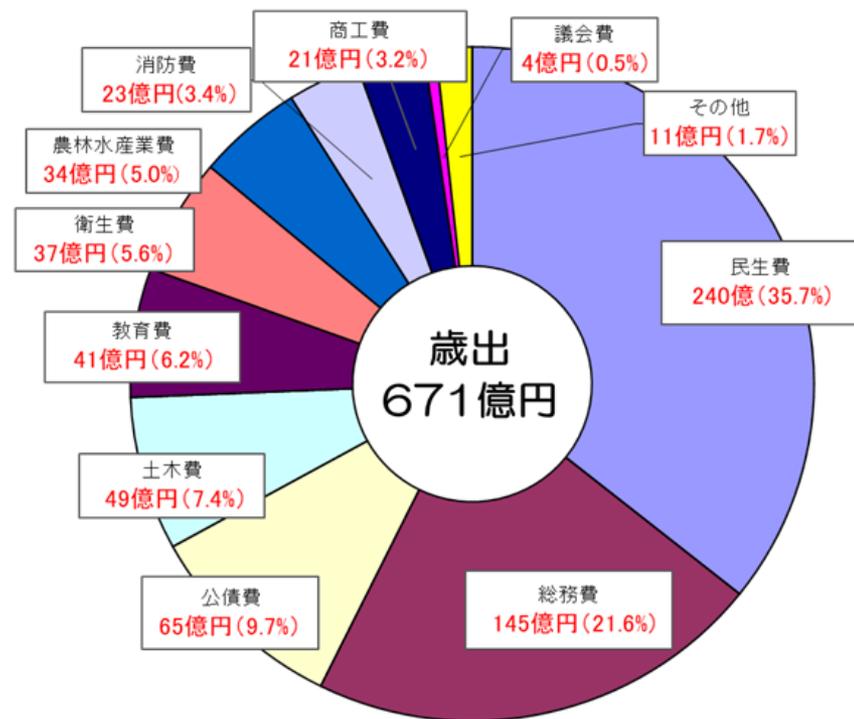
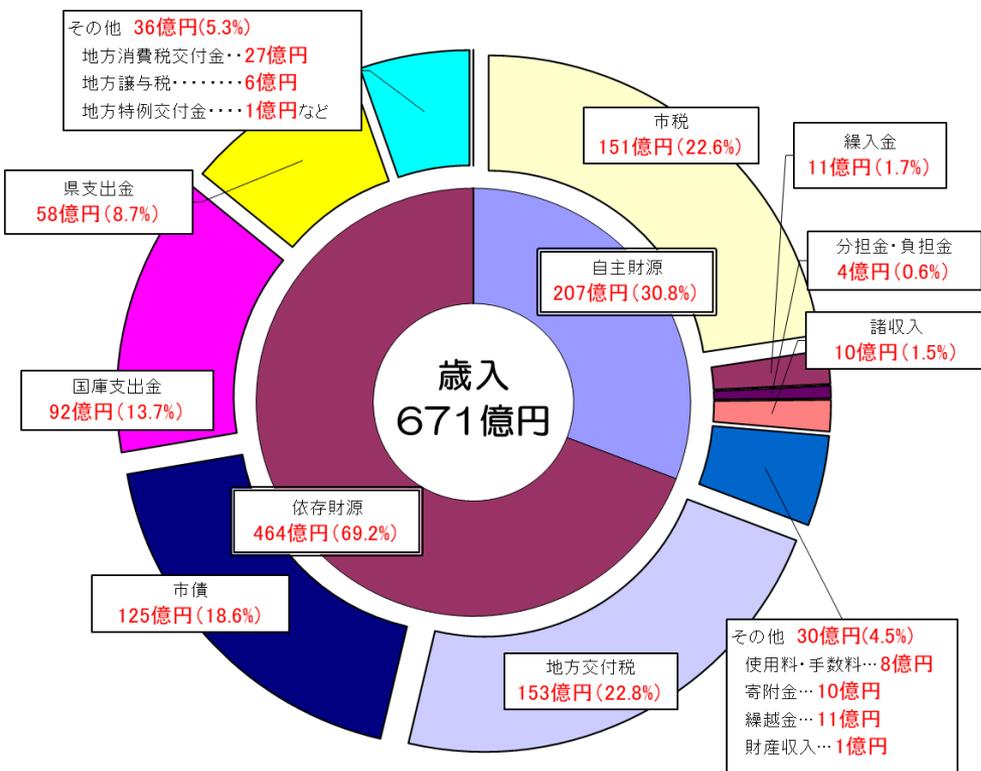
(単位:百万円)

＜一般会計 当初予算規模の推移＞



令和3年度 八代市 当初予算

一般会計 歳入・歳出の状況



令和3年度 八代市 当初予算

一般会計 歳入予算の構成

歳入の種類	令和3年度	割合	増減のポイント	対前年度増減	対前年度比
自主財源	206億8,400万円	30.8%		+9億7,700万円	+ 5.0%
市税	151億4,500万円	22.6%	「法人市民税」や「固定資産税」の落ち込みなどにより減少	△5億1,400万円	△ 3.3%
繰入金	11億1,500万円	1.7%	「新型コロナウイルス感染症対策基金」や「ふるさと八代元気づくり応援基金」の繰入金などが増加	+6億7,400万円	+ 153.2%
分担金・負担金	4億1,000万円	0.6%	氷川町・宇城市からの「い草移植機等導入支援負担金」の増加	+2,200万円	+ 5.6%
諸収入	10億3,300万円	1.5%	坂本町の「仮施設整備支援事業」への助成金による増加	+8,800万円	+ 9.3%
その他	29億8,100万円	4.4%	「ふるさと納税寄附金」の伸びによる増加	+7億 700万円	+ 31.1%
依存財源	464億2,200万円	69.2%		+59億3,000万円	+ 14.6%
地方交付税	153億2,000万円	22.8%	「普通交付税」の地方財政計画の伸びなどにより増加	+5億8,200万円	+ 3.9%
市債	124億9,400万円	18.6%	継続中の「新庁舎建設事業」が完成に向けた最終年度となる影響や、「臨時財政対策債」の伸びによる増加	+47億4,500万円	+ 61.2%
国庫支出金	91億9,600万円	13.7%	「築添団地」給水設備改修など補助金が増加	+6,200万円	+ 0.7%
県支出金	58億4,500万円	8.7%	豪雨災害に伴う「林道施設災害復旧費補助金」や、「い草移植機等導入支援補助金」などが増加	+7億5,000万円	+ 14.7%
その他	35億6,700万円	5.3%	「地方消費税交付金」などの減少	△2億 900万円	△ 5.5%
合計	671億 600万円	100.0%		+69億 700万円	+ 11.5%

※ 各区分の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

令和3年度 八代市 当初予算

一般会計 歳出予算の構成(目的別)

歳出(目的)	令和3年度	割合	増減のポイント	対前年度増減	対前年度比
議会費	3億7,700万円	0.6%	「市議会運営におけるタブレット等の導入経費」などにより増加	+ 300万円	+ 0.8%
総務費	144億9,600万円	21.6%	継続中の「新庁舎建設事業」が完成に向けた最終年度となる影響や、「ふるさと納税事業」の伸びによる増加	+64億 500万円	+ 79.2%
民生費	239億6,300万円	35.7%	「障害福祉サービス給付事業」や、「障がい児通所支援事業」の伸びなどによる増加	+1億8,900万円	+ 0.8%
衛生費	37億4,600万円	5.6%	前年度に「市立病院の解体経費」があったことなどにより減少	△1億1,700万円	△ 3.0%
農林水産業費	33億5,700万円	5.0%	「い草移植機等の導入支援補助金」などにより増加	+1億6,000万円	+ 5.0%
商工費	21億3,500万円	3.2%	「新型コロナ対策の融資に対する利子補給事業」や、「坂本町の仮設店舗施設整備事業」などにより増加	+1億4,400万円	+ 7.2%
土木費	49億5,000万円	7.4%	「築添団地」の給水設備改修工事や、「橋梁長寿命化修繕事業」の拡充などによる増加	+2億4,400万円	+ 5.2%
消防費	23億 100万円	3.4%	前年度に「防災行政無線整備に係る経費」があったことなどにより減少	△8億 800万円	△ 26.0%
教育費	41億4,900万円	6.2%	継続中の「民俗伝統芸能伝承館整備事業」の事業費の影響による減少	△5億 400万円	△ 10.8%
災害復旧費	6億5,800万円	1.0%	豪雨災害に伴う「林道施設災害復旧費」や、「農業施設災害復旧費」などが増加	+6億4,900万円	+ 6,685.2%
公債費	64億9,000万円	9.7%	「環境センター整備に係る市債（H29債の約30億円借入）」の償還開始などにより増加	+2億3,800万円	+ 3.8%
その他	4億8,400万円	0.7%	「ふるさと八代元気づくり応援基金」の積立金拡充などにより増加	+3億 400万円	+ 169.5%
合計	671億 600万円	100.0%		+69億 700万円	+ 11.5%

※ 各区分の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

令和3年度 八代市 当初予算

一般会計 歳出予算の構成(性質別)

歳出(性質)	令和3年度	割合	増減のポイント	対前年度増減	対前年度比
義務的経費	313億 600万円	46.7%		+1億8,600万円	+ 0.6%
人件費	91億4,900万円	13.6%	「退職手当」の減少や、前年度に「国勢調査事業」に係る報酬があったことなどにより減少	△ 300万円	+ 0.0%
扶助費	156億6,700万円	23.3%	「児童手当」や「こども医療費助成」などの減少	△4,900万円	△ 0.3%
公債費	64億9,000万円	9.7%	「環境センター整備に係る市債（H29債の約30億円借入）」の償還開始などにより増加	+2億3,800万円	+ 3.8%
一般行政経費	221億 800万円	32.9%		+17億 400万円	+ 8.4%
物件費	63億4,200万円	9.5%	「ふるさと納税事業」に係る業務委託経費や、「パソコン教育推進事業」の機器等保守点検などの拡充により増加	+2億5,500万円	+ 4.2%
繰出金	64億4,700万円	9.6%	「介護保険特別会計」繰出金などの増加	+5,800万円	+ 0.9%
補助費等	78億4,000万円	11.7%	「新型コロナ対策の融資に対する利子補給経費」や、「い草移植機等の導入支援経費」などの増加	+11億7,800万円	+ 17.7%
出資貸付金	5億1,300万円	0.8%	前年度に「コワーキングスペース整備運営事業」に係る貸付金があったことなどにより減少	△1,900万円	△ 3.5%
その他	9億6,600万円	1.4%	「ふるさと八代元気づくり応援基金」の積立金拡充などにより増加	+2億3,200万円	+ 31.6%
投資的経費	136億9,200万円	20.4%		+50億1,700万円	+ 57.8%
普通建設費	46億 600万円	6.9%	前年度に「防災行政無線整備に係る経費」があったことや、「民俗伝統芸能伝承館整備事業」の事業費の影響により減少	△15億6,600万円	△ 25.4%
災害復旧費	90億8,600万円	13.5%	継続中の「新庁舎建設事業」や、「林道施設災害復旧事業」などにより増加	+65億8,300万円	+ 263.0%
合計	671億 600万円	100.0%		+69億 700万円	+ 11.5%

※ 各区分の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

「新型コロナウイルス感染症対策関連」の主な事業 【経費の計：3億9,800万円】

拡充 戸籍住民基本台帳事務事業

5,300 万円

ポイント

市民課（11頁）

・窓口業務でのレジシステム入れ替えとして、キャッシュレス決済サービスにも対応する「非接触型レジ」のリース経費を予定しています。

【コロナ分：100万円】



拡充 特別支援学校通学関係事業

3,700 万円

ポイント

教育政策課（47頁）

・新型コロナウイルス感染症対策として、スクールバス乗車時の3密を避けるためスクールバスを2便増便する経費を予定しています。

【コロナ分：1,200万円】



継続 新型コロナウイルス対策
(利子補給事業)

3 億1,600 万円

ポイント

農林水産政策課（28頁）、商工・港湾振興課（34頁）

・中小事業者や農林漁業者等が経営安定資金などを借り入れた資金の金利負担分を補助する経費を予定しています。

【農林】200万円

【商工】3億1,400万円

(※全額、コロナ分)



拡充 議会運営事務事業

4,300 万円

ポイント

議会事務局（3頁）

・新型コロナウイルス感染症対策として、議員用の「タブレット端末」を全議員分導入し、ペーパーレス化も進めていく経費を予定しています。

【コロナ分：400万円】



DX
関連

※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「新型コロナウイルス感染症対策関連」の主な事業

拡充 入札・契約・検査事務事業

900 万円

ポイント

契約検査課 (3頁)

・工事関係に導入している電子入札システムに、新型コロナウイルス感染症対策及び入札事務の効率化を図るため、「物品・役務」を追加する経費を予定しています。



【コロナ分：300万円】

DX
関連

拡充 情報化端末等運用事業

6,600 万円

ポイント

情報政策課 (7頁)

・新型コロナウイルス感染症対策として、WEB会議システム導入に必要なソフトウェア使用料や、WEB会議用モニター購入経費を予定しています。



【コロナ分：300万円】

DX
関連

拡充 サーバ管理運用事業

4,800 万円

ポイント

情報政策課 (8頁)

・ペーパーレス会議システム購入費や、新型コロナウイルス感染症対策として、テレワーク環境の整備を更に推進する経費を予定しています。



【コロナ分：3,800万円】

DX
関連

新規 デジタル化推進事業

700 万円

ポイント

企画政策課 (8頁)

・「スマートシティ推進協議会」や「デジタル化推進基本計画策定委員会」の開催経費、「デジタル化推進基本計画」の策定経費を予定しています。



(※全額、コロナ分)

DX
関連

※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「令和2年7月豪雨関連」の主な事業 【経費の計：10億 500万円】

継続 林道施設災害復旧事業
(豪雨災害)

5億1,100万円

ポイント

水産林務課 (53頁)

・令和2年7月豪雨により被災した林道施設の復旧を行う経費を予定しています。
(林道坂本山江線などの復旧経費)

(※全額、豪雨分)



継続 農業施設災害復旧事業
(豪雨災害)

1億2,700万円

ポイント

農地整備課 (53頁)

・令和2年7月豪雨により被災した農地及び農業施設の復旧を行う経費を予定しています。
(二見川及び坂本町の板持川にかかる橋梁の復旧経費)

(※全額、豪雨分)



拡充 小型合併処理浄化槽設置整備事業

8,600万円

ポイント

下水道総務課 (23頁)

・例年の規模に加え、令和2年7月豪雨により被害の大きかった坂本地区の災害復旧に係る申請件数増加を見込んだ経費を予定しています。

【豪雨分：2,700万円】



新規 農家の自力復旧支援事業

400万円

ポイント

農地整備課 (53頁)

・令和2年7月豪雨により被災した農地のうち、国庫補助の対象とならない農地を、営農再開につなげるため、農家自ら復旧するための経費を予定しています。

(※全額、豪雨分)



※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「令和2年7月豪雨関連」の主な事業

継続 消防施設災害復旧事業

800 万円

ポイント

危機管理課 (54頁)

・ポンプ格納庫修繕、ポンプ格納庫設置工事、消防ホース格納箱等購入経費を予定しています。

(※全額、豪雨分)



継続 防犯灯設置事業

1,000 万円

ポイント

市民活動政策課 (8頁)

・令和2年7月豪雨により被災した防犯灯の復旧経費や、被災自治組織の防犯灯の電気料金補助金を予定しています。

【豪雨分：400万円】



継続 防災対策事業

1,400 万円

ポイント

危機管理課 (42頁)

・衛星電話購入や、小中学校校舎を避難所として使用する場合必要となる警備カード等購入経費を予定しています。

【豪雨分：400万円】



継続 災害見舞金等支給事業 (豪雨災害)

1,000 万円

ポイント

健康福祉政策課 (13頁)

・八代市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づき、災害による関連死を含む死亡者等に対し、災害弔慰金の支給、及び関連死について災害によるものかを判定する災害弔慰金等支給審査委員会の開催経費を予定しています。

(※全額、豪雨分)



※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「令和2年7月豪雨関連」の主な事業

継続

被災者転居費用等助成事業
(豪雨災害)

2,000 万円

ポイント

健康福祉政策課 (14頁)

・令和2年7月豪雨で住宅が被災したことにより、応急的な住宅での居住を余儀なくされた被災者が、恒久的な住宅として、県内の住宅や民間賃貸住宅、公営住宅に入居する際の初期費用を助成する経費を予定しています。



(※全額、豪雨分)

継続

被災者見守り対策事業
(豪雨災害)

300 万円

ポイント

健康福祉政策課 (14頁)

・応急仮設住宅（建設型・賃貸型）に入居する独居高齢者世帯及び要配慮世帯が安心して日常生活を送ることができるよう、緊急通報システムを導入し、見守り体制の強化を図る経費を予定しています。



(※全額、豪雨分)

拡充

中学校通学関係事業

1,000 万円

ポイント

教育政策課 (46頁)

・豪雨災害によるJRの不通により、通学手段がなくなった坂本中学校の生徒を対象に、新たにスクールバス送迎に係る経費を予定しています。



【豪雨分：200万円】

継続

八代市災害ボランティアセンター
運営事業 (豪雨災害)

700 万円

ポイント

健康福祉政策課 (14頁)

・令和2年7月豪雨にて被害を受けた被災者を支援するため、坂本地域福祉センターを拠点として活動している「復興ボランティアセンター」を運営する経費を予定しています。



(※全額、豪雨分)

※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「令和2年7月豪雨関連」の主な事業

継続

被災者生活再建支援事業
(豪雨災害)

3,300 万円

ポイント

健康福祉政策課 (12頁)

・令和2年7月豪雨にて被災した世帯の見守りや相談支援等を行う専門組織「八代市地域支え合いセンター」を設置し、被災者の早期の生活再建を図る経費を予定しています。

(※全額、豪雨分)



新規

仮施設整備支援事業
(豪雨災害)

1 億6,000 万円

ポイント

商工・港湾振興課 (35頁)

・令和2年7月豪雨により被災した坂本町において、「道の駅坂本」の敷地内に仮設商店街を整備経費を予定しています。

(※全額、豪雨分)



新規

復興推進事業

2,300 万円

ポイント

復興推進課 (7頁)

・「坂本町復興まちづくり計画策定経費」や、「災害公営住宅基本計画策定経費」を予定しています。

(※全額、豪雨分)



新規

職員派遣事業 (豪雨災害)

3,100 万円

ポイント

人事課 (3頁)

・熊本市などから技術職員の中長期的な人的支援の受け入れを予定しています。

(※全額、豪雨分)



※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「重点戦略経費」の主な事業

1 農林水産業の更なる振興

拡充 いぐさ・畳表生産体制強化緊急対策事業 **5億5,600万円**

ポイント 農業振興課 (27・28頁)

・八代市と氷川町及び宇城市の移植機66台、苗処理機59台、カセット7,080個を導入する経費を予定しています。
(産地生産基盤パワーアップ事業と併せて実施)



継続 八代畳表認知向上・需要拡大事業 **1,800万円**

ポイント フードバレー推進課 (27頁)

・「八代産畳表認知向上・需要拡大推進協議会」により、「家づくり層」をターゲットとして、新築・リフォームなど畳との親和性の高いテーマで販売促進と連動した施策を実施する経費を予定しています。



2 経済の浮揚と雇用・交流人口増によるにぎわいの創出

拡充 民俗伝統芸能伝承館整備事業
民俗伝統芸能伝承館管理運営事業 **1億6,800万円**

ポイント 文化振興課 (49・51頁)

・継続費設定分の整備経費(1億3,800万円)
・上記に加え、令和3年7月に開館予定の「民俗伝統芸能伝承館」の開館記念式典及び施設維持管理経費を予定しています。



継続 DXによる八代圏域ツナガル推進事業 **2,400万円**

ポイント 商工・港湾振興課 (34頁)

・若者の地元定着及びUIJターン者に対する支援などに加え、「企業への支援」として「企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)化」を促進させる経費を予定しています。



**DX
関連**

地方都市から始めるDXセミナーの様子

※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

「重点戦略経費」の主な事業

3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現

継続

学校教材充実事業
(小・中・特別支援学校)

6,200 万円

ポイント

学校教育課 (45頁)

・中学校の教科書採択にあわせ、受験科目である国語、社会、数学、理科、英語の5教科のデジタル教科書の購入経費を予定しています。



拡充

産後ケア事業

600 万円

ポイント

健康推進課 (21頁)

・産後ケア事業の制度改正に伴い、令和3年度から里帰り出産により、八代市受託事業者以外で利用した場合も対象となる経費を予定しています。



4 安全・安心で魅力ある都市を築く

拡充

新庁舎建設事業
新庁舎建設オフィス環境整備支援事業

79 億6,900 万円

ポイント

新庁舎建設課 (10頁)

・本体工事の令和3年10月完成を目指し工事を進め、外構工事関連については、新たな継続費を設定する予定です。
・来庁者にとって分かりやすい什器などの配置とサイン計画を含めたオフィス環境の整備を行う予定です。



継続

市内一円道路改良事業

7 億300 万円

ポイント

土木課 (38頁)

・「竜西東西12号線」や、千丁の「新牟田西牟田線」などの整備経費について、国の3次補正による、令和2年度3月補正予算と併せて行う予定としています。



「重点戦略経費」の主な事業

5 誇るべきふるさとを未来につなぐ

拡充 ICT授業サポート事業

3,200 万円

ポイント

学校教育課（43頁）

・新たな取り組みとして、「ICT教育推進アドバイザー」に係る経費や、「ICT授業サポーター」を4名増員し、8名体制で授業のサポートを行う経費を予定しています。



継続 広報広聴活動事業

3,700 万円

ポイント

秘書広報課（5頁）

・3年ごとに実施する「中学生議会」の開催経費を予定しています。



6 市民意識調査結果による優先取組み

新規 地域おこし協力隊事業

500 万円

ポイント

坂本支所 地域振興課（7頁）

・地域おこし協力隊2名を募集・任用し、産業・観光の開発、情報発信などの地域協力活動経費を予定しています。



継続 職員研修事業

1,000 万円

ポイント

人事課（4頁）

・スマートシティの更なる推進を図るため、ICT意識改革研修、DX（デジタルトランスフォーメーション）人材育成研修等を、新たな特別研修として予定しています。

DX
関連



※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

その他の主要事業

拡充 大規模スポーツ大会等誘致事業

500 万円

ポイント

スポーツ振興課 (52頁)

- ・スポーツ合宿や大会誘致を効果的及び計画的に行うための官民一体組織「八代市スポーツコミッション(仮称)」への負担金を予定しています。



継続 空き家等対策事業

1,400 万円

ポイント

住宅課 (37頁)

- ・空き家実態把握業務委託について、5年前の前回調査の基礎資料の更新として調査を行う経費を予定しています。



拡充 ふるさと納税事業 (ふるさと納税PR事業)

5 億7,200 万円

ポイント

観光・クルーズ振興課 (4頁)

- ・八代よかとこ大使である「ゴリけん氏」による物産振興及びふるさと納税の情報発信業務の経費を予定しています。
(R3寄附見込額：10億円)



拡充 市庁舎管理運営事業

2 億4,000 万円

ポイント

資産経営課 (5頁)

- ・令和2年度3月から業務開始予定の「坂本支所仮設庁舎」リース経費や、新庁舎の施設の包括委託を行う「総合管理業務委託経費」を新たに予定しています。



※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。

その他の主要事業

拡充 住民自治推進事業

7,300 万円

ポイント

市民活動政策課 (6頁)

・地域協議会活動交付金について、「資源回収集積所管理分等」の社会情勢分の上乗せ、また「敬老会事業」の一人当たりの単価見直しによる増額を予定しています。



拡充 広域行政事務組合負担金事業

18 億5,600 万円

ポイント

危機管理課 (41頁)

・新開消防署庁舎建設に係る事業費負担金(3,200万円)
令和3年度は、基本設計・地質調査・造成設計経費を予定しています。



継続 伝統文化財復元修復事業

500 万円

ポイント

文化振興課 (51頁)

・ユネスコ無形文化遺産に登録された「八代妙見祭の神幸行事」等が将来にわたり、適切に保存継承されるよう、復元修復経費を予定しています。
(R3は、笠鉦「松」と「亀蛇」を対象)



新規 第68回九州総合バドミントン選手権大会開催事業

100 万円

ポイント

スポーツ振興課 (52頁)

・九州のトップレベルの高校生や大学生、社会人が参加し、全日本選手権の代表をかけた大会を、本市で開催する経費を予定しています。
(令和3年5月開催予定)



※(頁)は、別冊「令和3年度当初予算の概要」の頁番号です。